

学校評価アンケートのご報告

日頃より、本校の教育活動へご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。昨年12月に行った学校評価アンケートでは、多くのご回答をありがとうございました。児童のアンケート結果と合わせてご報告いたします。

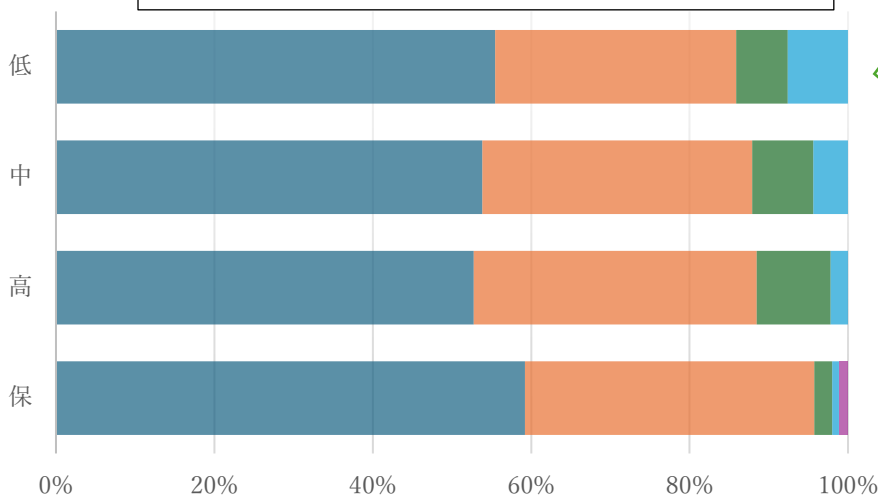
- そう思う
- だいたい そう思う
- あまり 思わない
- 思わない
- わからない



低=低学年
中=中学年
高=高学年
保=保護者

①

児童：学校に行くのが楽しい。
保護者：子どもは、楽しく学校に通っている。



児童：肯定 87.2%
(うち「そう思う」53.6%)
保護者：肯定 95.8%
(うち「そう思う」59.2%)

どの学年の児童も、約90%は学校に来るのが楽しいと感じています。また、保護者からも「楽しく通っているはず」という高い信頼があるのが分かります。

しかし、児童の約13%は消極的な回答です。その回答の理由となるものを理解し、学校、保護者と連携して軽減していきたいと思います。

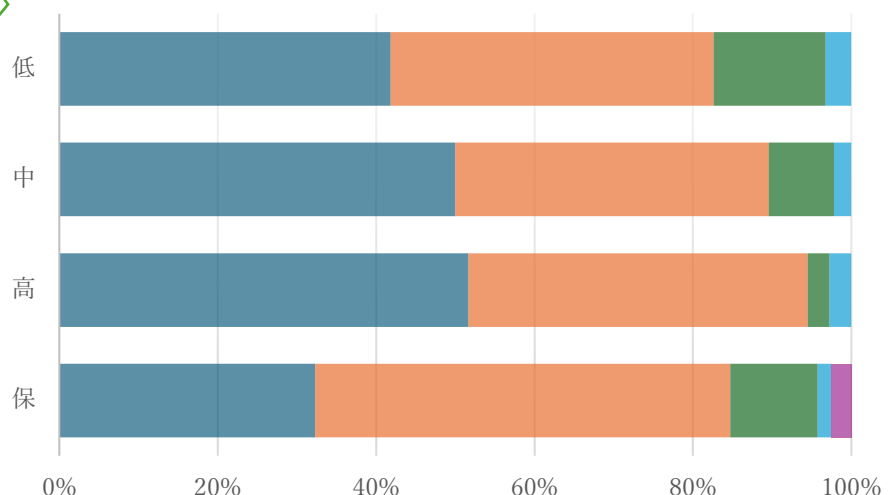
児童：肯定 88.5%
(そう思う 47.3%)
保護者：肯定 84.7%
(そう思う 32.3%)

約80%以上の児童が肯定的な回答です。また、学年が上がるにつれて肯定的な回答が増え、高学年は90%を超えています。一方、保護者は児童の実感と比べて厳しめな評価が見られます。

個別最適な学びの取組を進めていくとともに、児童の頑張りや成果をお知らせしていきます。

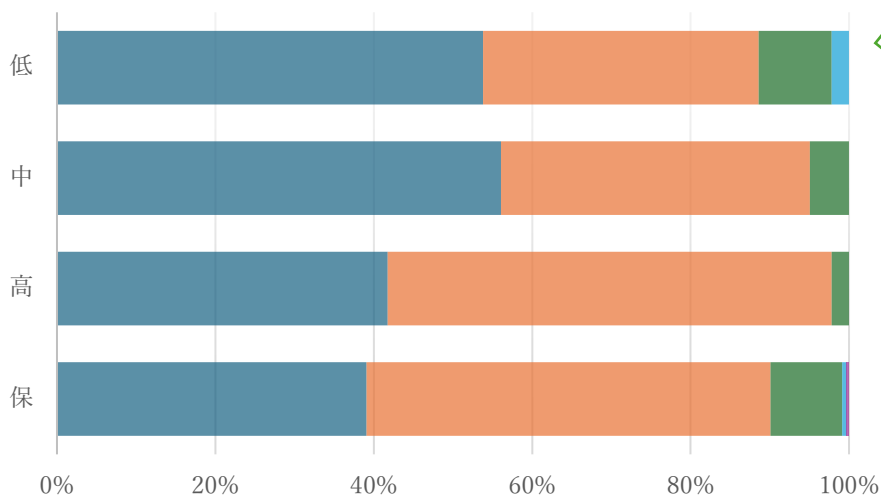
②

児童：学校での勉強がよくわかる。
保護者：子どもは、学習がよく分かると言っている。



③

児 童：麦っ子のやくそくや時間を守っている。
保護者：子どもは、約束や時間を守っている。



児童：肯定 93.7%

(そう思う 50.4%)

保護者：肯定 90.1%

(そう思う 39.1%)

児童、保護者ともに肯定的な回答が90%を超えており、「麦っ子の約束」を意識して生活しています。

授業準備や片付け、持ち物などに課題はありますが、約束の意味を児童に考えさせながら、「麦っ子の約束」が守れるようにしていきます。

児童：肯定 89.9%

(そう思う 50.4%)

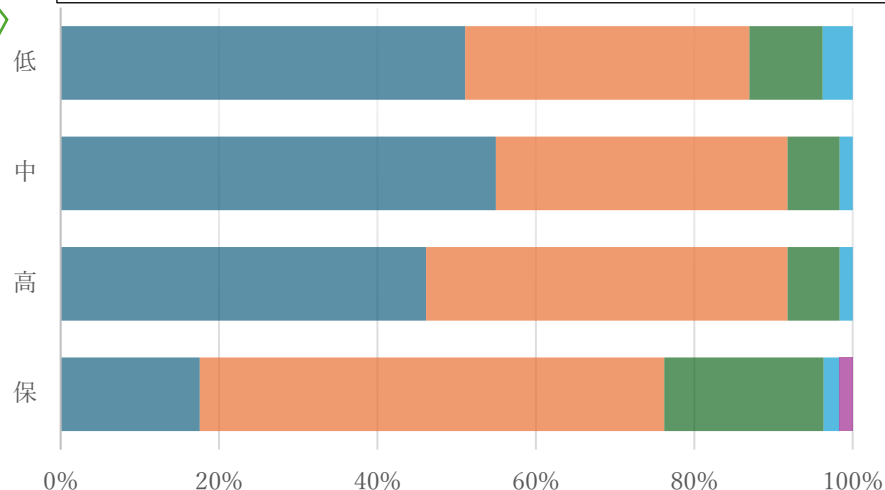
保護者：肯定 76.2%

(そう思う 17.6%)

児童は「できている」と感じています。保護者の「そう思う」は17%台と低いです。家庭や地域で見せる姿と、学校内での姿に差があるのか、児童と保護者の「できる」と思う水準に開きがあることが考えられます。受け取る側の気持ちも考えながら言葉をつかえるよう指導します。

④

児 童：進んであいさつをしたり、言葉づかいに気をつけたりしている。
保護者：子どもは、進んであいさつをしたり、言葉づかいに気を付けたりしている。



たてわり活動



スポーツフェスティバル

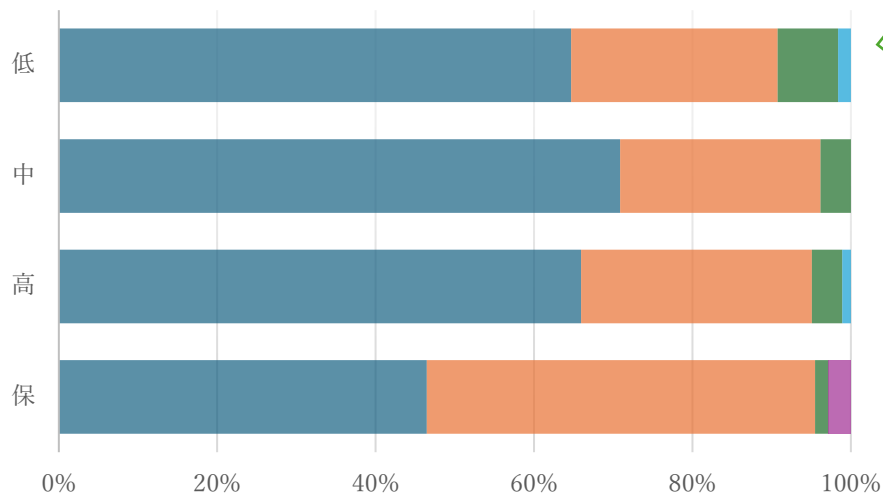


避難訓練

⑤

児童：学校に来るときや帰るとき、学校の中では、あんぜんに気をつけている。

保護者：学校は、子どもの健康安全を考え取り組んでいる。



児童：肯定 93.5%

(そう思う 66.7%)

保護者：肯定 95.5%

(そう思う 46.5%)

全項目で最も「そう思う(強い肯定)」の割合が高い項目です。特に児童の安全意識は非常に高いです。

しかし、廊下を走ったり登下校時に広がって歩いたりなどまだまだ課題は見られます。継続して安全指導に努めていきます。

児童：肯定 93.3%

(そう思う 62.2%)

保護者：肯定 91.8%

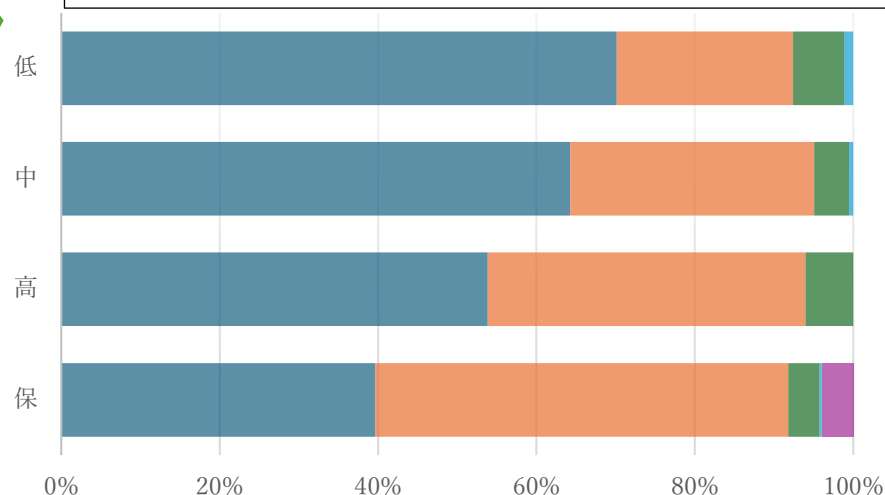
(そう思う 39.7%)

学校をきれいにしようという児童の意欲が数字に表れています。保護者からも「落ち着いて過ごせる環境」として高く評価されています。しかし、学年が上がるにつれて(そう思う)の割合が低くなっています。「きれいな学校」を自分たちでつくる意識を育てていきます。

⑥

児童：教室や学校を、きれいにしようとしている。

保護者：学校は、子どもが落ち着いて過ごせるよう環境整備に努めている。



児童：肯定 91.0%

(そう思う 54.9%)

保護者：肯定 86.1%

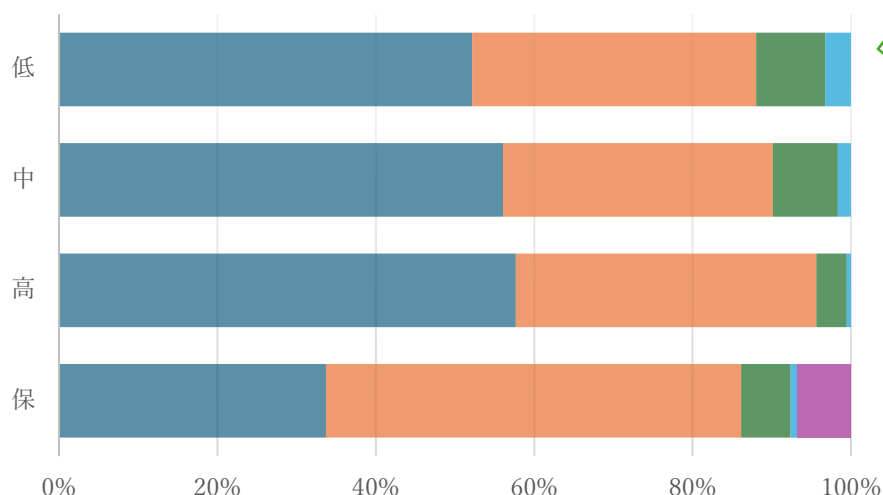
(そう思う 33.7%)

児童の9割が思いやりを意識できています。保護者の肯定率(そう思う)が低いのは、友人トラブル等の不安を抱いていらっしゃる等々の理由が考えられます。日常的に細やかに指導していくとともに、道徳や共生・共育の学習で子どもたちの思いやりの気持ちを育てていきます。

⑦

児童：人の立場になって考え、自分がされていやなことは人にしていない。

保護者：学校は、子どもたち相互のかかわりや人間関係を理解し、のぞましい関係を育んでいる。



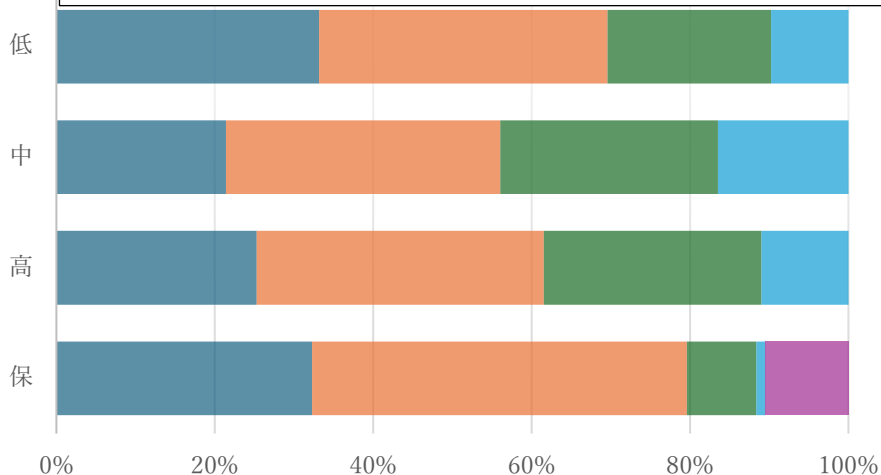
児童: 肯定 62.4%
(そう思う 26.6%)
保護者: 肯定 79.6%
(そう思う 32.3%)

保護者は「相談にのってくれている」と一定の評価をしていますが、児童の4割近くが「相談できていると思わない」と回答しています。担任に限らず、児童が相談しやすいように、児童と教職員との関係づくりを進めます。また、相談しやすい手だてを考えていきます。

⑧

児童: 困ったことや辛いこと、わからないことがあったら、いつでも先生に相談している。

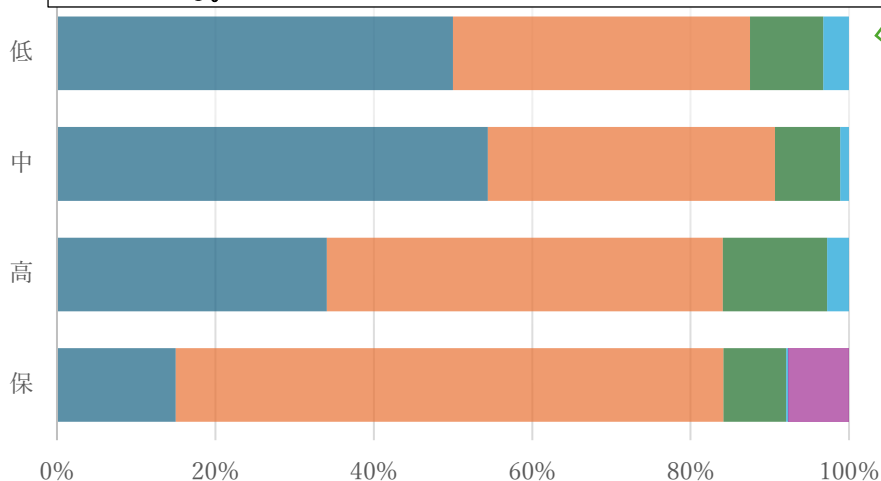
保護者: 学校は、子どもが困っていることや、困り感をとらえ、いつでも子どもの相談にのっている。



⑨

児童: 地域の方や学校行事や授業に協力してくださっている方々と進んでかかわり、地域や町のよさについて考えた。

保護者: 保護者は、学校の運営方針を理解し、積極的に学校とかかわっている。



児童: 肯定 87.2%

(そう思う 45.7%)

保護者: 肯定 84.1%

(そう思う 15.0%)

地域に出て学習する機会が多い低、中学年児童の肯定率が高くなっています。また、保護者の肯定率は高いものの、「だいたいそう思う」への回答が集中しており、「深い理解」までには至っていません。

学校の取組や児童の様子など、できるだけ多く発信していくよう努めていきます。

子どもたちへ「新作小学校の良いところはどんなところですか。」という質問をしました。その中の回答で多かったものをご紹介します。これらの子どもたちの思いを大切にしていきます。

「先生たちが面白くて、授業が楽しい」

「校庭が広くて、のびのび遊べる」

「昔から続く『麦づくり』を大切にしている」

「給食が日本一おいしいと思う！」

「みんなが優しく、困っているとすぐに助けてくれる」

「麦っ子まつりなど、みんなで協力する行事がある」

などなど



保護者の皆様には、多数のご回答をいただき、誠にありがとうございました。頂いたご意見を真摯に受け止め、次年度の学校経営計画に反映させてまいります。私たちは、温かいお言葉を「自信」に変え、厳しいご意見を「改善のチャンス」として真摯に受け止め、より良い学校づくりに繋げてまいります。今後とも、ご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。